



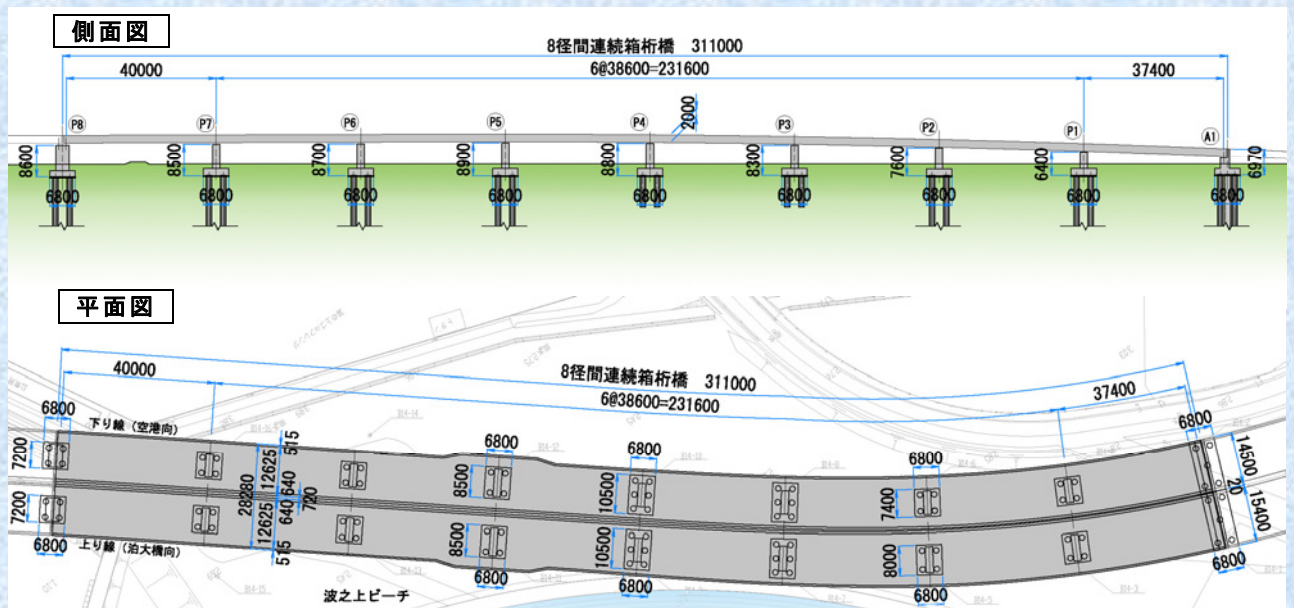
わかさこうかきょう
若狭高架橋

若狭高架橋は、観光立県を目指す沖縄県的那覇市に位置し、沖縄西海岸道路の一部を構成する那覇西道路の橋梁です。那覇西道路は、那覇市若狭を起点とし、同市鏡水に至る延長約 3.0km の地域高規格道路であり、平成 22 年度末開通を目指しています。完成後は、那覇市周辺部交通混雑の緩和や那覇港・那覇空港へのアクセス向上等を目的としており、地域生活の活性化が期待されています。

本工事では、①工程短縮②塩害対策のため、最大全 8 施工区間同時施工による急速施工を行い、エポキシ塗装鉄筋やポリエチレンシースの使用等の対策を実施しています。

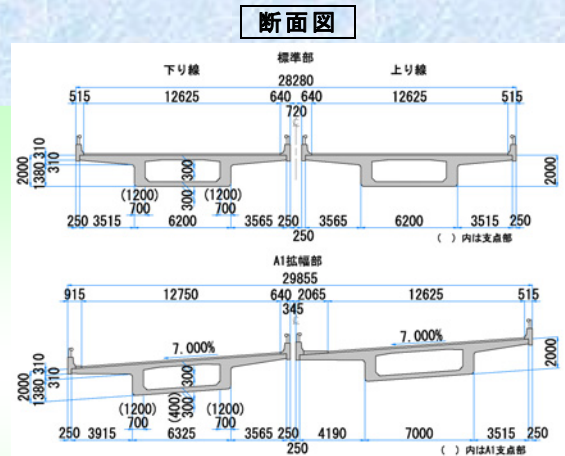


◆一般図



◆橋梁諸元

工事名：平成 19 年度若狭高架橋上部工(A1~P8)工事
 発注者：内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部
 設計者：(株)総合技術コンサルタント
 位置：沖縄県那覇市西地先
 道路規格：第 1 種第 3 級
 形式：PC 8 径間連続箱桁橋
 荷重：B 活荷重
 橋長：上り線 313.238m、下り線 308.914m (40.0+6@38.6+37.4m)
 総幅員：上り線 15.205~13.780m 下り線 14.600~13.780m (有効幅員 12.625m)
 架設工法：固定支保工工法
 PC 鋼材：主鋼材 : SWPR7B 12S12.7 (SEEE 工法：内ケーブル)
 横 締 : SWPR19 1S28.6 (SM 工法：プレグラウト鋼材)



◆構造・施工概要

1) 工程短縮

本橋はPC 8径間連続箱桁橋の上部工を、固定支保工で施工しています。現場条件より施工日数の短縮が求められ、最大8施工区間（上下線各4施工区間）同時施工を実施しました。

同時施工を行うため、施工区間の継ぎ目に目地（2.5m）を設け、両方の施工区間が完了した後に目地部の施工を行いました。桁製作は下床版と上床版に分けて打設を行い、上床版にはコンクリートのひび割れ対策のためにFEMを用いた温度応力解析を実施し、補強筋の配置により有害なひび割れなしで施工を完了しました。

2) 塩害対策

架橋位置が塩害対策S地域であるため、エポキシ樹脂塗装鉄筋の使用、鋼製排水溝の二重塗装、メッキ塗装をHDZ55にするなどの対策を行っています。

①着手前全景



②支保工組立



③支承配置



④下床版ウレフ配筋



⑤下床版ウレフ打設



⑥床版横締め配置



⑦上床版打設



⑧主鋼材緊張

⑨完成全景



◆工程表

項目	平成20年												平成21年				
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5		
準備工																	
上り線	橋体工																
	橋面工																
下り線	橋体工																
	橋面工																
片付け工																	